

「息を吸って～」は何のため？～正確な X 線検査(レントゲン)を行うために～

X 線写真を撮る時に「何で息を吸って止めなきゃいけないの？」「何で検査着に着替えるの？」と疑問を持ったことはございませんか？

今回は X 線撮影での「呼吸の重要性」と「着替えることの意味」についてご説明いたします。

●よく写すためには呼吸が決め手！

胸やお腹の X 線撮影を撮る際には「息を吸って～」「息を止めてください」と呼吸のお願いをしています。これは診察したい場所をより大きく写し出すためです。

肺を写す時は息を吸っていただきます。息を吸えば胸が膨らむので肺の見える範囲が広がります。逆にお腹を写す時は息を吐いていただきます。息を吐くことで肺が小さくなりお腹の見える範囲を広げることができるのです。



そして息を止める理由はただ一つ。写真をブレないようにするため！これだけです。

X 線写真も普通の写真撮影と一緒です。動いているものを撮影すればブレてしまいます。せっかく吸ったり吐いたりしていただき見える範囲を広げても、正確な画像が撮影できなければ元も子もありません。最近では撮影機器も性能が良くなり息を止める時間も短縮されておりますが、やはり息止めのお願いは避けられません。

もちろん手や足などの撮影は呼吸による影響を受けませんので呼吸のお願いはいたしません。

●検査着にはなぜ着替えるの？

「X 線写真は骨が見えるんだから洋服なんて透けちゃうんじゃないの？」とよく言われます。確かに薄い布 1 枚くらいなら写りません。しかし、意外にも様々な物が X 線写真には写ってしまいます。

ボタンなどのプラスチック、ネックレスなどの金属類はもちろんですが、湿布やエレキバン、洋服の文字や柄のプリントも写ってしまいます。見たい場所に余計なものが写ってしまえば診断の妨げになってしまいます。そのために検査着へのお着替えをお願いしております。

このように X 線写真は撮る場所によって様々な条件があるため、患者様の協力無しには良い写真が撮れません。正確な診断の為にご理解とご協力をお願いいたします。



なお、息止めの等の患者様負担の軽減や正確な診断を期すために、当院では 2015 年 9 月より東芝社製 80 列マルチスライスヘリカル CT「Aquilion PRIME(アキュイリオン プライム)」を導入し運用開始いたします。詳細については「放射線部門」ページをご覧ください。